

様式1号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社							
代表者名	氏名	佐藤 敏彦	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	埼玉県所沢市大字下富840番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	3231 時計・同部分品製造業						
主たる事業の概要	時計・時計部分品製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	2,034	kl	その他ガス排出量合計	1,271	t-CO ₂	自動車の台数	10	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

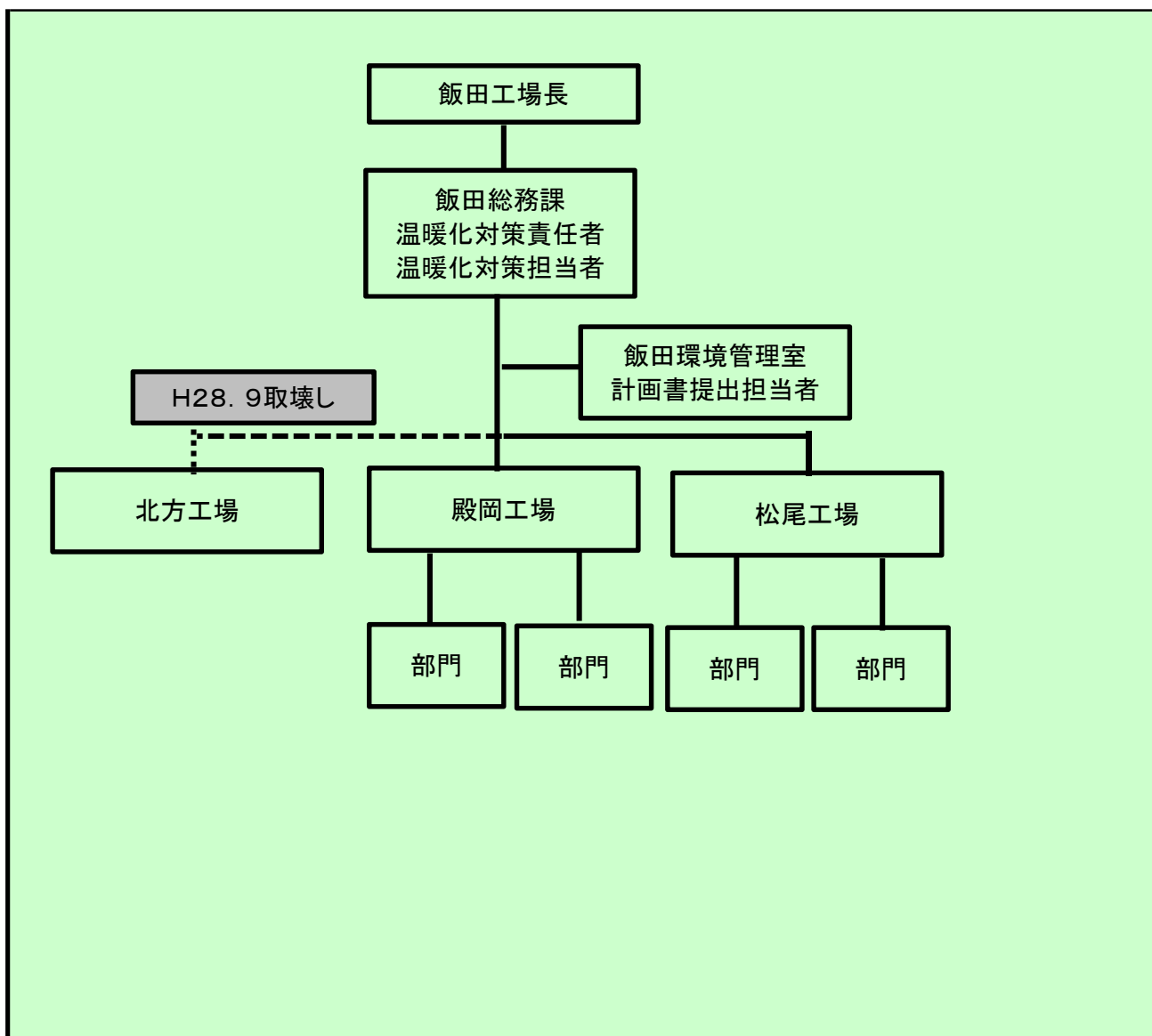
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://cwmi.citizen.co.jp/company/environment.html
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

◆環境負荷軽減活動テーマの創意工夫

- ① CO₂排出量 2017年度目標 4,238t-CO₂ (前年度比△5.0%)
- ② 環境配慮型生産設備の開発・製造を推進する
- ③ 資源の有効活用の推進
 - ◎電気使用量の削減
 - 工場廃棄物の削減
 - リサイクル率100%
 - 自動車燃料使用量の削減
 - ノーマイカー運動の実施
 - コピー用紙使用量の削減

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	4,918	t-CO ₂	延床面積	17	単位	千m ²	
25年度	調整後排出量	3,573	t-CO ₂	基準原単位	291.01	t-CO ₂ /	千m ²	
目標年度	目標排出量	4,770	t-CO ₂	目標原単位	282.30	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	2.99	%		
目標設定に関する説明	毎年1%削減 3年間で3%削減を目指します。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	5,351	t-CO ₂	延床面積	26.40	単位	千m ²	
	調整後排出量	5,311	t-CO ₂	原単位	202.72	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	(8.81)	%	削減率	30.33	%		
排出量等の増減理由	生産数量の増加に伴い稼働時間が増加したため電力使用量が増加							
第二年度	排出量	4,961	t-CO ₂	延床面積	26.40	単位	千m ²	
	調整後排出量	4,933	t-CO ₂	原単位	187.95	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	(0.88)	%	削減率	35.41	%		
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季空調電力使用ピーク時期において、連続休暇(8/1~8/9)とした。 ・コンプレッサーのエアリーク検査及び修理を行い無駄遣いを減らした。 ・第一工場、第二工場共に作業現場内の天井照明をLED化した。 ・夏場、冬場の空調温度調整(製品品質に影響のない範囲で) ・休日出勤の抑制、残業抑制による電力削減・クールビズ、ウォームビズの実施 							
第三年度	排出量	4,183	t-CO ₂	延床面積	22.66	単位	千m ²	
	調整後排出量	4,151	t-CO ₂	原単位	184.57	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	14.94	%	削減率	36.57	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの取組に加え ・稼働時間の抑制の強化(休日出勤、残業) ・照明器具のLED化 							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	1,334	t-CO ₂	延べ床面積		単位	千m ²	
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位			t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位			t-CO ₂ /	千m ²
	目標削減率		%	目標削減率			%	
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	1,703	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位			t-CO ₂ /	
26年度	削減率	(27.67)	%	削減率			%	
排出量等の増減理由	生産数量の増加に伴い、派遣社員の増加。この為合併浄化槽利用人数増加							
第二年度	排出量	732	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位			t-CO ₂ /	
27年度	削減率	45.12	%	削減率			%	
排出量等の増減理由	昨年に対して仕事量減。休出、残業減となり合併浄化槽利用人数減							
第三年度	排出量	1,271	t-CO ₂	延べ床面積		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位			t-CO ₂ /	
28年度	削減率	4.72	%	削減率			%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由	・子会社社員の直雇用化に伴い就労人員増加この為合併浄化槽利用人員が増加							

寄与度の合計から求めた目標削減率※

寄与度の合計から求めた実績削減率※

寄与度の合計から求めた実績削減率※

寄与度の合計から求めた実績削減率※

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	44	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	49	t-CO ₂	削減率	-11.37	%
26年度						
排出量等の増減理由	会社統合により事業活動が本格化。これに伴い自動車による出張が増加					
第二年度	排出量	57	t-CO ₂	削減率	-29.55	%
27年度						
排出量等の増減理由	本社（所沢）への社有車による出張が増加					
第三年度	排出量	63	t-CO ₂	削減率	-43.19	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	・本社（埼玉県所沢市）及び拠点工場への社有車出張増加					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699 高圧変圧器の32台を順次更新 高効率アモルファス変圧器の更新	26~28	75		
2	エネ起	360799 空気圧縮機及び真空ポンプ機の順 次更新	26~28	74	27	
3	エネ起	330299 空調機の順次更新	26~28	40	27	
4	エネ起	360799 浄化槽エアブローポンプ及び 大型換気扇モータの順次更新	26~28	3		
5	エネ起	380753 高効率照明ランプ、灯具への更新	26~28	8	27	
6	エネ起	320301 遮熱塗装の塗布	26~28			
7	エネ起	380752 LEDの導入			27	221
8	エネ起	380752 LEDの導入			28	44
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1,345		40	28	32
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,043	1	3,433	1	3,312		
1,500k1未満	2	1,875	2	1,918	2	1,649	3	4,183
合計	3	4,918	3	5,351	3	4,961	3	4,183

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	218	277	298	513
N ₂ O	1,116	1426	434	758
HFC				
PFC				
SF ₆				
合計	1334	1703	732	1271

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	11	11	11	10
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	地域ぐるみISO研究会「いいこすPJ」による省エネ診断へ参加
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	年間3回ノーマイカー運動を推進
公共交通機関の利用促進	出張時には公共交通機関の利用を推奨
来客者の交通対策	公共交通機関を案内
物流の合理化	関連会社便のハブ化を推進

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	1998年、2015年版を2017年更新
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	屋根や扉などの遮熱塗装・フィルム貼りによる電気量削減
第一年度実績	空調機の入替を実施
第二年度実績	空調機の入替。天井照明の一部LED化
第三年度実績	照明器具のLED化、エアコン、コンプレッサーの稼働時間の抑制

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	なし	
その他	なし	